

関連科目，教科書および補助教材	
関連科目	
教科書	「高等学校国語総合」(三省堂)
補助教材等	「ステップアップ高校漢字問題集」(東京書籍)、「カラー版新国語便覧」(第一学習社)、国語辞書
学習上の留意点	
<ul style="list-style-type: none"> ・漢字テストは「小テスト」の一つとして評価する。 ・読書一行感想カードと読書感想文は「レポート」として評価する。 ・提出物については、厳しく対応する。締切を厳守すること ・古文の授業では、図書館にある教科図書を活用する。各自で閲覧し、学習しておくこと。 ・授業中、プリントを配付する。ファイルを準備し、整理しておくこと。 ・国語 I (3単位)の最終成績は、国語 I (現代文・古文)と国語 I (漢文)を2:1として評価する。 	
担当教員からのメッセージ	
<p>高専では低学年の間に、基礎学力をしっかりと身につけます。中でも国語は、基礎学力の要です。膨大な知識を吸収し、自分で考える力を鍛え、他者と関わる方法を身につけるために、しっかり取り組みましょう。</p>	

授業の明細			
回	授業内容	到達目標	自学自習の内容 (予習・復習)
1	ガイダンス	・シラバスを読み、授業の概要、学習到達目標、成績評価方法等を理解する。	予習と復習：シラバスを熟読する。
2	評論（二）山崎正和「水の東西」	<ul style="list-style-type: none"> ・接続語や指示語等に注目しながら文脈を把握することができる。 ・段落同士の関係に注意しながら、論理の展開や要旨を的確にとらえることができる。 ・抽象的な事象について、具体例を補いながら読解することができる。 ・筆者のものの見方や考え方が理解できる。 	予習：ことばの意味調べをしておく。漢字学習をする。 復習：学習プリントを読み直し、理解しておく。
3			
4			
5	古文入門「絵仏師良秀」（『宇治拾遺物語』）	<ul style="list-style-type: none"> ・古文のノートの作り方を学習する。 ・歴史的仮名遣い・古語・文法・古典常識を学習する。 ・説話文学の基礎知識を習得する。 ・取り上げた場面を読解し、鑑賞する。 	予習：教科書本文を読んでおく。 復習：学習プリントを読み直し、理解しておく。
6			
7			
8	詩 中原中也「一つのメルヘン」	<ul style="list-style-type: none"> ・詩の形式を学習する。 ・詩を鑑賞する。 	復習：学習プリントを読み直し、理解しておく。
9	前期中間試験		
10	試験返却・解答解説	<ul style="list-style-type: none"> ・解説を聞いて間違えた箇所を訂正する。 ・何をどのように間違えたのかを振り返った上で、正答を理解する。 	
11	「記録文を読む・ロボットとは何か」	<ul style="list-style-type: none"> ・接続語や指示語等に注目しながら文脈を把握することができる。 ・段落同士の関係に注意しながら、論理の展開や要旨を的確にとらえることができる。 ・抽象的な事象について、具体例を補いながら読解することができる。 ・筆者のものの見方や考え方が理解できる。 	予習：ことばの意味調べをしておく。漢字学習をする。 復習：学習プリントを読み直し、理解しておく。
12			
13			
14	『徒然草』	<ul style="list-style-type: none"> ・『徒然草』の基礎知識を習得する。 ・読解し、兼好法師の価値観を考察する。 ・基礎的な古文文法や古語が理解できる。 	予習：本文をノートに書き写しておく。 復習：学習プリントを読み直し、理解しておく。
	前期末試験		
15	試験返却・解答解説 読書感想文の書き方	<ul style="list-style-type: none"> ・解説を聞いて間違えた箇所を訂正する。 ・何をどのように間違えたのかを振り返った上で、正答を理解する。 ・読書感想文の書き方を学習する。 	

授 業 の 明 細			
回	授業内容	到達目標	自学自習の内容 (予習・復習)
16	評論(二) 樺島忠夫「語と意味」	<ul style="list-style-type: none"> ・接続語や指示語等に注目しながら文脈を把握することができる。 ・段落同士の関係に注意しながら、論理の展開や要旨を的確にとらえることができる。 ・抽象的な事象について、具体例を補いながら読解することができる。 ・筆者のものの見方や考え方が理解できる。 	予習：ことばの意味調べをしておく。漢字学習をする。 復習：学習プリントを読み直し、理解しておく。
17			
18			
19	「東下り」(『伊勢物語』)	<ul style="list-style-type: none"> ・『伊勢物語』の基礎知識を習得する。 ・場面を読解し、味わうことができる。 ・基礎的な古文文法や古語を理解できる。 	予習：本文をノートに書写しておく。 復習：学習プリントを読み直し、理解しておく。
20			
21			
22	文学史	<ul style="list-style-type: none"> ・日本の古典文学史の基礎知識を学習する。 	予習・復習：「カラー版新国語便覧」を読む。
23	後期中間試験		
24	試験返却・解答解説	<ul style="list-style-type: none"> ・解説を聞いて間違えた箇所を訂正する。 ・何をどのように間違えたのかを振り返った上で、正答を理解する。 	
25	小説(一) 芥川龍之介「羅生門」	<ul style="list-style-type: none"> ・場面の展開を理解し、作品の構成を把握している。 ・登場人物の心情を把握し、描写を味わうことができる。 ・表現上の工夫をとらえることができる。 ・小説を自分なりに鑑賞することができる。 	予習：ことばの意味調べをしておく。漢字学習をする。 復習：学習プリントを読み直し、理解しておく。
26			
27			
28	和歌	<ul style="list-style-type: none"> ・和歌の基礎知識を習得する。 ・『万葉集』『古今和歌集』『新古今和歌集』の和歌を読み、鑑賞できる。 ・基礎的な古文文法や古語が理解できる。 	予習：教科書本文を読んでおく。 復習：学習プリントを読み直し、理解しておく。
29			
学年末試験			
30	試験返却・解答解説 まとめ 授業改善アンケートの実施	<ul style="list-style-type: none"> ・解説を聞いて間違えた箇所を訂正する。 ・何をどのように間違えたのかを振り返った上で、正答を理解する。 ・一年間のまとめができる。 	
総 授 業 時 間 数			60 時間

関連科目，教科書および補助教材

関連科目	
教科書	「高等学校国語総合」(第一学習社)
補助教材等	「カラー版新国語便覧」(第一学習社)

学習上の留意点

授業では、音読と訓点に重点を置く。詩文の背景の説明の詳しく行う。
ガイダンスでは、ノート標準的な使い方を教えるが、各自で書き込み方に工夫を凝らし、復習に生かして欲しい。ちなみに、「その他」は「復習カード」の提出である。授業のポイントを3行程度の短い説明文いすることで、要点をまとめる力、短文を書く力を身につけてもらいたい。
国語 I (3単位)の最終成績は、国語 I (現代文・古文)と国語 I (漢文)を2:1として評価する。

担当教員からのメッセージ

漢文は非常に完成度の高い人工言語である。そして訓読漢文は日本人が血肉としてきたものである。訓読によって、省略されることおの多い主語や目的語が分かり、品詞や時制が分かるようになる。
日本語は、いつ、どこで、だから、といったことを曖昧なままで使うことができる言語である。そんな日本語にとって、訓読漢文は外してはならない芯なのである。訓読漢文に親しみ、読めるようになって、日本語の力はさらに上昇するだろう。

授 業 の 明 細			
回	授業内容	到達目標	自学自習の内容 (予習・復習)
1	ガイダンス 漢文入門①	授業の進め方、ノートの取り方等を理解できる。漢文を学習する意味を理解できる。現代語を古語にする方法を理解できる。	(復習) 復習カードを書く。 (予習) 小テストの準備をする。
2	漢文入門②	小テストにより、古語化の方法の理解を深めることができる。 熟語を訓読する方法を理解できる。	(復習) 復習カードを書く。 (予習) 小テストの準備をする。
3	漢文入門③	小テストにより、熟語を訓読する方法の理解を深めることができる。 「狐借虎威」を読んで、訓読漢文を理解できる。	(復習) 復習カードを書く。 (予習) 小テストの準備をする。
4	漢文入門④ 漢詩①	小テストにより、「狐借虎威」の理解を深めることができる。 漢詩とはどういうものかを理解できる。	(復習) 復習カードを書く。
5	漢詩②	漢詩の読解の仕方を理解できる。 鑑賞文の書き方を理解できる。	(復習) 復習カードを書く。
6	漢詩③	"	(復習) 復習カードを書く。
7	漢詩④	"	(復習) 復習カードを書く。漢詩の鑑賞文を書く。
8	史話①	「完璧」(十八史略)をもとに、史話の読み方を理解できる。	(復習) 復習カードを書く。
9	後期中間試験		
10	答案返却・解説 史話②	試験解説により、訓読漢文の理解を深めることができる。「創業守成」(十八史略)をもとに、史話の読み方を理解できる。	(復習) 復習カードを書く。 (予習) 小テストの準備をする。
11	史話③	史話のまとめと小テストにより、理解を深めることができる。	(復習) 復習カードを書く。 (予習) 小テストの準備をする。
12	思想①	「論語」を読み、孔子の考えや生き方を理解できる。	(復習) 復習カードを書く。 (予習) 小テストの準備をする。
13	思想②	"	(復習) 復習カードを書く。 (予習) 小テストの準備をする。
14	思想③	"	(復習) 復習カードを書く。
	学年末試験		
15	答案返却・解説 まとめ 授業改善アンケートの実施	試験解説により、訓読漢文の理解をさらに深めることができる。	
総 授 業 時 間 数			30 時間